

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろKids		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での療育で一人ひとりに合わせた療育ができています。	利用者や、保護者の方からの意見を取り入れつつ、その時の課題に合わせた療育プログラムを臨機応変に取り入れる。	運動の決まったプログラムに加えて、利用者の意見を取り入れながら、活動を行っていく。
2	1時間の流れが視覚的にわかり、見通しを持って活動に参加できること。	集中して取り組めるように適宜休憩を挟みながら、メリハリを付けて取り組むようにしている。	運動内容に飽きないように常にアップデートしながら行っていく。
3	送迎を行っているため、利用者が通いやすい。	同じ時間、同じ曜日での利用を推奨し、利用者同士の関係が築けるようにしている。	利用者の性格や相性を踏まえて、利用者同士のコミュニケーションをもっと取れるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数での療育のため、集団での運動(ドッジボール、野球など)は工夫が必要。	最大4人の療育のため、集団の運動は工夫が必要。	職員も参加したり、イベントなどの機会を通して取り組んでいきたい。
2	送迎範囲、受け入れに限界があり、要望に対応できていない。	療育の受入人数の枠が埋まっていて、新規の受け入れが難しい。	送迎車や、ドライバーを増やしたり、枠の確保をしていきたい。
3			